

THE SHIUN#447 夏号



発行所：大本山金戒光明寺
発行者：浦田 正宗
京都市左京区黒谷町 121
TEL: 075-771-2204
FAX: 075-771-0836
振替：01010-6-5045

Schedule

8月 はづき

21日～教師養成道場

10月 かなづき

13日 京都大学医学部
解剖体物故者追善法要
25日 写経会

9月 なかつき

～9日 教師養成道場
18日 京都大学建築会
物故者法要
26日 写経会

11月 しもつき

3日 吉備杯囲碁大会
12日～秋の特別拝観

※お詫び
前回春号において御忌大会を誤って8月の予定に
記載しておりましたが正しくは
4月22日～25日でした。
ご迷惑をおかけしました事をお詫び申し上げます。



第七十五世法主 久米慶勝台下

晋山式にて

当山第75世久米慶勝台下 表葬儀式

法名 圓蓮社大僧正満譽上人弁阿福壽慶勝大和尚

令和3年7月21日当山御影堂において、当山第75世久米慶勝台下の表葬儀が執り行われた。9時30分より随時焼香が始まり、10時30分より総本山知恩院伊藤猥下を御導師にお迎えし表葬儀式が厳修された。浄土宗内外より多くの方々が弔問に来られ亡き台下を偲ばれた。

（大本山くろ谷金戒光明寺第75世法主）6月3日御遷化、世寿81歳。

1941年、東近江市の昌善寺に生まれた。立命館大文学部卒。布教師として半世紀以上活動を続け、総本山知恩院執事、総本山知恩院布教師会会長や宗議会議員を務めた。2019年7月に同寺法主に就任した。晋山式は昨年予定されていたが、新型コロナウイルスの影響で1年間延期になり、今年3月に行ったばかりだった。昨年闘病を続けておられた。

密葬は6月5日に愛知組正円寺で近親者、関係者のみで行われた。



御忌大会無事成満

4月22日から25日まで恒例の御忌大会が厳修された。

23日の日中唱導師は神奈川教区鎌倉組二伝寺當間浩昭上人、速夜導師には伊賀教区上野組徳王寺森下哲秀上人、24日は長野教区松本組無極寺高坂良智上人、速夜導師には京都教区相楽組阿弥陀寺勅使河原清順上人が出仕された。日中唱導師・速夜導師はコロナウィルス感染症拡大防止策として去年の御忌のご出仕は延期されましたので一年越しのご出仕となった。本年もコロナ禍の中で開催が危ぶまれたが御影堂の収容人数制限やいろいろな感染症対策を講じて両日とも盛況の中荘厳に御忌を勤められた。

25日の御忌正当日は堀内宗完師による献茶式、そして御導師はご法主に代わり清水秀浩法務執事にて厳修された。

また例年23日から25日に行われていた幼稚園児による献香献灯献花は全て中止に、25日の甲賀門中檀信徒による御詠歌奉納も中止された。

23日
唱導師
當間上人



24日
唱導師
高坂上人



23日
速夜導師
森下上人



24日
速夜導師
勅使河原上人



京の弁当・仕出

ハトヤコーズ

〒601-8421 京都市南区西九条藤ノ木町23番地
TEL 075-662-1230 FAX 075-662-1238

株式会社 八百仙

〒606-8336 京都市左京区岡崎北御所町
TEL 075-771-1478

待ち続けるということ

千葉教区浄蓮寺 郡嶋泰威

「待つ」という行為は、多くの場合ストレスをとまなうものです。待ち合わせの時刻を過ぎても相手が現れなければ「どうしたのだろうか？」と心配になりますし、逆に「もしかしたら自分が場所や時刻を間違えてないだろうか」と不安にもなります。今は携帯電話のお陰で、いつでもどこにいてもお互いに連絡を取れるようになり、以前と比べてストレスはかなり軽減されました。それでも、散々待たされたあげく、待ちかねた相手が悪びれる様子もなく、のんびり現れたりしたら、さすがに心穏やかではいられません。

コロナ禍により自粛が求められるようになって一年以上が経ちました。今なお、コロナに振り回されっぱなしの日々が続いています。感染者が増えては自粛が要請され、解除されると途端に感染者が増えて、の繰り返し。ワクチン接種が進んでいるという明るい話題はあるものの、出口の見えないトンネルを走り続けているような状況に変わりはありません。近頃では自粛も我慢の限界を超えてしまった方も多いようで、ゴールデンウィークには東京都など四都府県が「緊急事態宣言」下に置かれていたにもかかわらず、行楽地に多くの人が押し寄せたとのこと。「待ちつづける」ということが、私たちにどうやっていかに

「しんどい」ことなのか、改めて思い知らされます。以前のようには、好きな時に、好きなところへ行けて、気兼ねなく人と会える時が一日も早く来ることを願ってやみません。

そう考えると、阿弥陀さまとは、なんとありがたい佛さまでありましょうか。

阿弥陀さまが「ナムアマダブツと我が名を呼ぶ者を、一人も漏らさず極楽へ救おう」との願いを成就して仏と成られたのは、「十劫」という、人間の想像をはるかに超える、遠い昔のことである、とお経には説かれています。阿弥陀さまは成仏以来、今日に至るまで、十劫もの、気の遠くなる永い永い間、私たちのことをずっと「極楽へ救おう」と願い続け、「ナムアマダブツと我が名を称えよ」と呼びかけ続けて下さっていたのです。ところが私たちは、そんな阿弥陀さまの呼びかけに気付かず、たった一声のお念仏さえも称えぬまま、六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上）の世界をさまよい続けてきたのです。記憶にはありませんが、地獄や餓鬼など、恐ろしい世界にも生まれ合わせながら六道をさまよい、いまだに極楽に往生を遂げられないまま、人間の世界にとどまっているのです。阿弥陀さまはそんな私たちをご覧になり「なぜ、我が名を呼んでく

れぬ、我が極楽へ往生を遂げてはくれぬか……」と思召し、私たちがお念仏を称えるのを、ずっと待ち続けて下さっていたのです。思えば、阿弥陀さまには十劫の間、ずっと「待ちぼうけ」させっぱなしの私たちでありました。

しかし、そんな私たちのことをも阿弥陀さまは決してお見捨てにはなりません。どんなに「待ちぼうけ」させられても、たとえ、裏切られるようなことがあろうとも、私たちを極楽に救おうと願い続け、「今日は我が名を呼んでくれるか。今日こそナムアマダブツと称えにかかるか」と、今この時も、念仏の聲が聞こえてくるのを、今や遅しと、耳を澄ましてお待ち下さっているのです。

たった一年あまり待つだけでも、私たちにはとても耐えがたいことです。まして阿弥陀さまは、既に十劫という永い間、私たちがお念仏申すのを、あきらめることなくずっと待ち続けて下さっているのです。この阿弥陀さまの大慈悲のみ心を思えば、もうこれ以上阿弥陀さまをお待たせするわけにはまいりません。

「我が名を称えよ」との阿弥陀さまのみ心のままに、極楽へお救いいただくことを信じ願って、只々「ナムアマダブツ、ナムアマダブツ……」です。

御料理・寿司・仕出し



〒606-8336 京都市左京区岡崎北御所町33
TEL 075-771-3733



本家玉壽軒

〒602-8435 京都市上京区今出川大宮東入
TEL 075-441-0319 FAX 075-451-3274

🌀🌀🌀 清水執事の旅紀行 🌀🌀🌀

🌸🌸🌸 紀州 花山温泉の巻 🌸🌸🌸

へてんてん手ん鞠 てん手鞠… の歌い出しで始まる童謡「鞠と殿様」は、幼少時に母がよく歌ってくれた記憶がありますが、歌詞の中に「紀州の殿様」と出てくる和歌山城下が今回取り上げる温泉地であります。昨年と今春五十年目の御開帳のあった紀三井寺は、京阪神から車で行くには今では阪和道の和歌山南インターで降りますが、それまでは和歌山インターを使っていました。このI.Cから2km、5分程で到着するのが今回ご紹介する花山温泉です。

和歌山市の東部日前宮にも近く、阪和道沿いに薬師如来と延命地藏尊を祀る小堂が建ち、高速を隔てて日本でも数少ない天然炭酸鉄泉、関西最強といわれる花山温泉の建物があり、薬師の湯とも呼ばれています。

PHは6.3(中性)源泉温度は25.2度ですから大浴槽は加温していますが、掛け流しの源泉風呂は炭酸濃度が1100ppmと全国屈指の高濃度を誇り、血流が約7倍と血行が良くなることから、浴用の適応症は関節痛や筋肉痛をはじめ、消化器病や冷え性・疲労回復はもとより、泉質別の適応症として切傷やけど高血圧に動脈硬化症などと有難い療養泉となっています。

おすすめの入浴法は温冷交互入浴で、大浴槽41.5℃と源泉26℃を3回往復し、最後に露天風呂というコースです。その成分は浴槽の形も変わる程、堆積物の付着が著しいですから、浴槽や排水口のメンテナンスは大変なようです。その茶褐色は有馬の金泉や京都有栖川の天山の湯の比ではありません。タオルを落とさないよう注意しましょう。

この施設は温泉付で日帰りの会席や鍋プランのコースもあり、地元の人々の憩いの場になっています。宿泊しても紀州地魚会席や名物クエ鍋コース、熊野牛などを賞味できるほか、お昼の時間帯には春は鯛、夏はハモ、秋は松茸、冬はクエの季節の炊きたて釜飯を食することもできますので、こちらもご希望の場合は入浴前に予約されるのがいいでしょう。

開湯は昭和43年ですから約50年の歴史というところですが、和歌山城や和歌の浦など一日観光して、夕方5時以降の入館は入浴料が割引されるのも有難い特典となっています。



所在地 和歌山県和歌山市鳴神574

泉質 含二酸化炭素・鉄・カルシウム・マグネシウム・塩化物・炭酸水素塩泉

入浴時間 朝8時～夜11時(入館 午後10:30迄、木曜定休〔祝日の場合営業〕)

入湯料 大人 1,100円(夕方5時まで)

850円(夕方5時以降)

この度 くら谷金戒光明寺では
 “ひまわりの絆プロジェクト”
 に賛同させて頂く運びとなりました。

この活動は京都府内において交通事故で亡くなった男の子
 （当時4歳）のご遺族から、生前男の子が大切に育てていた
 ひまわりの種を引き継ぎ、その種を育てて、ひまわりを开花させる
 ことで、命の大切さを学び、被害者支援への理解を深めることを目的に
 実施している活動です。

当寺敷地内には子ども食堂を始め、幼稚園もございます。

高麗門入り口には 頂いたひまわりを植えました。

1人でも多くの方に大切な命を学ぶきっかけとなれば幸いです。

授与させて頂きました御朱印の冥加料の一部を寄付させて頂きます。

朱印は2種類 冥加料 各 1,000円



※大きさは同じです



株式会社 八百仙

〒606-8336 京都市左京区岡崎北御所町
 TEL 075-771-1478



京の弁当・仕出

ハトヤコーズ

〒601-8421 京都市南区西九条藤ノ木町23番地
 TEL 075-662-1230 FAX 075-662-1238

知恵授け

成長祈願

学業成就



日本三文殊のひとつ

京都のくろ谷さんで、

獅の背に乗り、海を渡る姿を刻んだ通称「中山文殊」は、
 仏師運慶の作と伝わる、日本三文殊随一と謳われる、智慧の仏様です。
 くろ谷本山御影堂に奉られる高さ2.8mの姿を仰ぎ見ながら、
 明るい未来を描く子どもたちの受験合格や健やかな成長を祈願します。

合格祈願、七五三のお申し込みは、
 常時受け付けております。

紫雲山 くろ谷 金戒光明寺

京都市左京区黒谷町121 TEL 075-771-2204



www.kurodani.jp